



2019年8月7日

各 位

会社名 片倉工業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 上甲 亮祐  
 (コード番号 3001 東証第1部)  
 問合せ先 執行役員企画部長 水澤 健一  
 (TEL. 03 - 6832 - 0223)

### 2019年12月期第2四半期累計期間における業績予想との差異に関するお知らせ

2019年2月25日に公表した2019年12月期第2四半期累計期間(2019年1月1日～2019年6月30日)の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2019年12月期 第2四半期累計期間業績予想と実績の差異

##### (1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	24,100	1,150	1,550	850	24円22銭
今回発表実績(B)	24,205	2,058	2,548	1,392	39円73銭
増減額(B-A)	105	908	998	542	
増減率(%)	0.4	78.9	64.3	63.7	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年12月期第2四半期)	24,304	1,269	1,790	950	27円06銭

##### (2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	7,800	800	850	450	12円82銭
今回発表実績(B)	7,725	1,151	1,754	1,132	32円31銭
増減額(B-A)	△75	351	904	682	
増減率(%)	△0.9	43.8	106.3	151.5	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年12月期第2四半期)	8,076	751	1,077	745	21円20銭

## 2. 差異の理由

### (1) 連結

売上高は、繊維事業での実用衣料の不振や機能性繊維の需要減等がありましたが、医薬品事業と機械関連事業で想定より伸長しほぼ当初予想通りとなりました。

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は、不動産事業が好調に推移したことや修繕費等の下期への期ずれに加え、機械関連事業と医薬品事業で採算性が改善されたことにより、当初予想を上回りました。

### (2) 個別

売上高はほぼ当初予想通りとなりましたが、営業利益は、不動産事業が好調に推移したことや修繕費等の下期への期ずれを主因に当初予想を上回りました。

経常利益・四半期純利益は、一部の連結子会社の業績改善が想定を上回ったことによる引当金の取崩増により、当初予想を上回りました。

以 上

## 【ご参考】第2四半期累計期間 セグメント業績

(単位：百万円)

	実績		予想		対比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
繊維事業	3,740	78	3,900	0	△160	78
医薬品事業	7,146	468	7,000	250	146	218
機械関連事業	7,007	224	6,900	0	107	224
不動産事業	5,353	2,119	5,300	1,850	53	269
その他	957	△10	1,000	△100	△43	90
調整額		△821		△850		29
合計	24,205	2,058	24,100	1,150	105	908